第三日暮里小学校 『図書館活用教育を中心に すえた教育課程の編成』

一 全校で組織的に取り組む図書館活用 一

1 学校図書館蔵書構成(令和元年12月26日現在)

分類番号	0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	合 計
蔵書数 (冊)	338	114	1255	1489	2563	738	694	903	515	6678	15287
構成比	2.2%	0.7%	8.2%	9.7%	16.8%	4.8%	4.5%	5.9%	3.4%	43. 7%	100%
標準比率	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%	100%

文部科学省図書標準 (13 学級): 8,360 冊 本校蔵書: 15,287 冊 達成率: 182.9 %

2 学校図書館部の構成

図書館教育を校内研究として位置付け、授業研究部と図書館教育部と学校司書で構成している。

3 学校図書館の運営

研究推進委員会の授業研究部を中心に、図書館活用 教育の研究を行った。全校で年間3回の研究授業を行 うために、授業研究部では研究構想図の計画や指導案 検討を行い、図書館教育部では図書室や調べ学習室等 の校内環境整備を行った。

学校司書と司書教諭や担任の連携を図るために、毎 月の図書館活用教育の計画や授業で活用したい図書 資料についての情報交換を行った。



4 1年間の主な活動



○「三日読書ノート」の活用

低・中・高学年用の読書ノートに自身の本の記録を付けている。 各学年毎の読書目標冊数を意識させ、読書指導を行っている。

○調べ学習ができる環境整備

調べ学習に使う学習シートを共通にし、調べ学習室や教室に常時置いている。多教科にわたり、学習シートを活用した調べ学習を行っている。

○読書月間の取り組み

6月と2月を読書月間とし、読書月間の読書目標を定めて 表彰したり、教員や保護者ボランティアによる読み聞かせを行ったりしている。

5 特色ある取組

「三日読書ノート」の記録に担任がコメントを入れ、 児童の読書の傾向を把握している。読書の質を高めたり 幅を広げたりすることができるよう指導に役立てている。 また「三日推薦図書」では、それぞれの学年に応じた 図書を手にとるようにさせたいと思い、低・中・高学年 用にシールの色を分けた。



教科・単元名 総合「お米の良さ、再認識プロジェクト」 - お米の未来を考えよう-【実践者】 5 学年 2 組

指導者 宮﨑 友美子 司書教諭 須田 朋子 学校司書 流王 法子

学習目標	○米作りの問題点をもとに、自分が調べたいことについての課題を設定し、図書資料やタブ					
	レットPCを活用して調べ、必要な情報を取捨選択することができる。					
	○米について様々な角度からとらえ、理解を深めることを通して、自分の生活を見つめ、米					
	に関わる食生活・食文化の大切さに気付くことができる。					
主な学習活動	1. 農家の方の話を聞き、自分が調べたい課題を設定する。					
	2. 図書資料やパンフレットを活用し、自分の課題について調べる。					
	3. 発表会を通して米の良さや大切さを再認識し、生活に生かす。					

実践の展開

- ①農家の方の話を聞き、自分が調べ たい課題を設定する。
- ・実際に米作りを行っている農家の 方から米作りの良さ、問題点を聞 き、自分が関心をもった課題を設 定する。
- ②図書資料を活用し、自分の課題について調べる。
- ・調べたい事柄について、図書資料や パンフレットを活用して必要な情 報を書き取った。
- ・年鑑の使い方や図書資料の活用の仕 方を並行して指導した。
- ③発表会を行い、学習を振り返る。
- ・情報を取捨選択しながら新聞にまと め、発表会を行った。
- ・米の発表を通して米の良さや食生活 の大切さに気付き、自分たちで育て た米を使って、家庭科でおにぎり作 りを行った。















子音を振り返る中で木の大切さを再認識し、生活に生かり。 司書教諭(図書主任)や担任(教科担当)と学校司書との協働

図書館活用ポイント

<事前打ち合わせのポイント>

・担任から学校司書へ単元計画や授業内容について伝 え、学習のねらいに応じた必要な図書資料の選書を 一緒に行った。

<授業での役割分担>

- ・担任は学習の見通しをもたせ、学習の進め方や資料 の活用の仕方、まとめ方について指導を行った。
- ・学校司書は、児童の課題に応じた図書資料の用意や 事前の打ち合わせに基づいた個別の支援を行った。

『朝日ジュニア学習年鑑 2018』(朝日新聞出版)

『お米の魅力つたえたい!米と話して365日』(文溪堂) 『世界にはばたけ!明日の農業・未来の漁業 1 大ヒット!野菜と米』(教育画劇)

『農業の発明発見物語 1 米の物語』(大月書店) 『日本の農業(ポプラディア情報館)』(ポプラ社)

『よくわかる米の事典 1~5』(小峰書店)

『お米なんでも大百科 1~5』(ポプラ社)

『お米のこれからを考える 1~4』(理論社)

<図書館資料の準備> (TPC も含む)

- ・課題解決に必要な図書資料を手に取れるよう、図書 資料の背に児童が調べたい観点ごとに色テープを 貼って提示した。
- <協働の成果>
- ・年鑑の使い方を並行して指導したことで、実際に活 用しながら使い方を身に付けることができた。
- ・観点別に色テープを付けたことで、自分が必要とす る資料をスムーズに見つけ出すことができた。

『日本の米づくり $1\sim4$ 』(岩崎書店)『米のプロに聞く!米づくりのひみつ $1\sim3$ 』(学研プラス)

『科学がひらくスマート農業・漁業 1 人工衛星とITで米づくり』(大月書店)

『オールガイド食品成分表 2019』(実教出版) など 〈雑誌〉「月刊ポプラディア」など

<パンフレット>「農業とわたしたちのくらし[小学校高学年]2019年度版」(JAバンク)など

〈HP〉農林水産省「統計情報」「スマート農業」など

資料リス